

現在、済生会熊本病院臨床工学部より週2日の派遣で業務を行っており、常勤の臨床工学技士は不在である。

1. ME機器中央管理業務

ME中央管理室の業務では、機器の貸出し、保守点検整備および修理を主たる業務として活動を行った。

中央管理しているME機器は、人工呼吸器6台（マスクベンチレーションの機器含む）、輸液ポンプ23台、シリンジポンプ8台、経管栄養ポンプ3台、小型シリンジポンプ6台、低圧持続吸引器6台、超音波ネブライザー4台、除細動器4台、AED2台、体外式ペースメーカー2台、ファイバースコープ2台、その他に医用テレメータ、ベッドサイドモニター、自動血圧計、パルスオキシメーター、ジェットネブライザーであった。

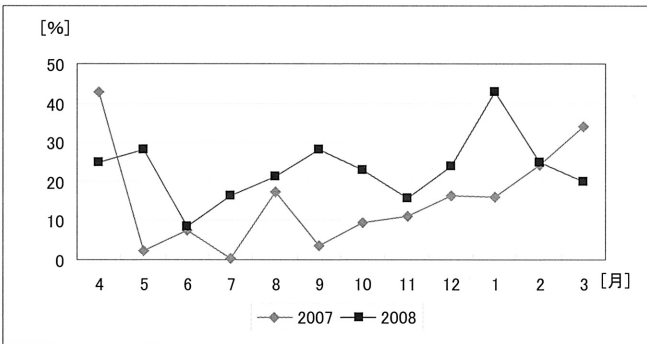


図1. 人工呼吸器の稼働状況年度比較  
平均稼働率23.1%（前年度19.9%）

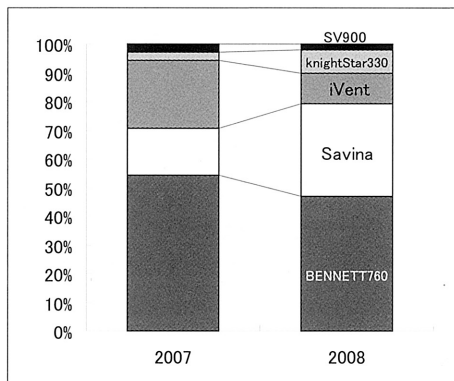


図2. 人工呼吸器使用割合年度比較

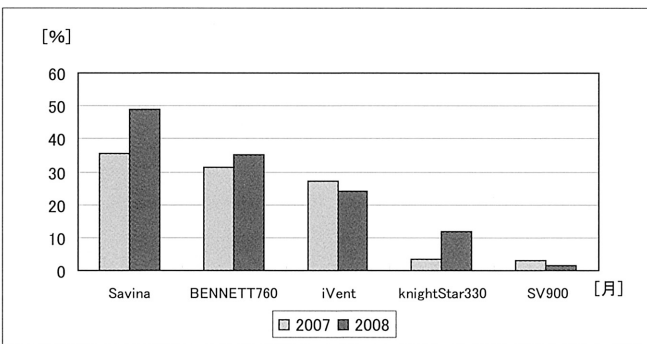


図3. 人工呼吸器機種別稼働率年度比較

図2より「BENNETT760」（2台）と「Savina」（1台）の計3台で全体の約80%を占めた。

「SERVO900」は、「BENNETT760」「Savina」が使用

できない場合の予備的な役割を果たしている。

「iVent201」は、レンタル料改定により不採算となる為、2008年12月末でレンタル契約を終了した。

2. 病棟機器の修理整備業務

機器の修理・調整は、病棟管理の物品についても実施した。

表1. 修理買替件数

| 部署    | 自動血圧計 | 吸引器 | 酸素流量計 | モニタ関連 | 水銀血圧計 | ネブライザー | パルスオキシメータ | 人工呼吸器 | その他 | 合計 |
|-------|-------|-----|-------|-------|-------|--------|-----------|-------|-----|----|
| 1・2病棟 | 6     | 1   | 4     | 1     | 2     | 1      | 2         | 0     | 1   | 17 |
| 3病棟   | 1     | 1   | 1     | 2     | 1     | 1      | 0         | 0     | 1   | 7  |
| 4病棟   | 1     | 6   | 0     | 0     | 0     | 1      | 0         | 0     | 0   | 8  |
| リハビリ  | 3     | 0   | 1     | 0     | 0     | 0      | 0         | 0     | 0   | 4  |
| 外来    | 1     | 0   | 0     | 0     | 1     | 1      | 0         | 0     | 0   | 3  |
| 手術室   | 0     | 0   | 0     | 1     | 0     | 0      | 0         | 0     | 0   | 1  |
| M E   | 0     | 0   | 0     | 0     | 0     | 0      | 0         | 1     | 0   | 1  |
| 合計    | 12    | 8   | 6     | 4     | 4     | 4      | 2         | 1     | 2   | 41 |

2008年度の修理依頼状況は自動血圧計が最も多く、次いで吸引器であった。

吸引器は、ガラスボトルからプラスチックボトルに更新中である。

3. 人工呼吸器業務

人工呼吸器を必要とする緊急時は、機器を選定しベッドサイド配置及び呼吸器設定の補助を行った。

定期的な回路・フィルタ交換を行い、要望があれば回路構成の変更も実施している。

4. ペースメーカー業務

対外式ペースメーカーの電極挿入時にジェネレーター操作及びサポートを実施した。

5. 手術室業務

麻酔器の定期点検を実施し、要請があれば手術の補助もしている。

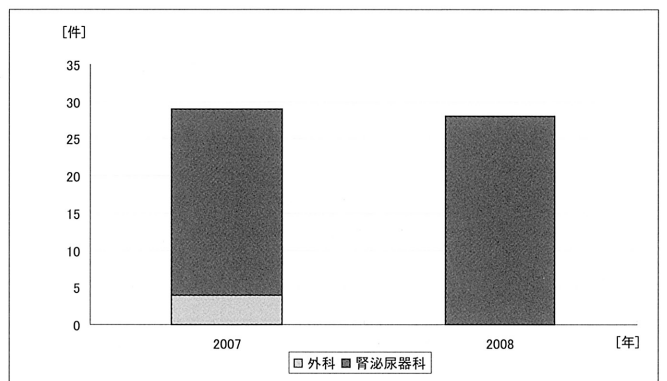


図5. 手術助手業務件数

2008年度の手術助手業務は、腎泌尿器科28件であった。

6. ME教育・指導

ME機器の原理、構造、適切な使用法の勉強会を実施した。

起こりうるトラブルとその対処、安全対策等に関して随時情報提供を行った。

トラブルの報告があった際は、迅速に対応・原因追求して返答し、その情報をME中央管理室に蓄積して、メーカーとの協議を行っている。